

# 鎌倉 パートナーズ



2007年3月発行 第42号

特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>



## 「地域ボランティアエアポート」として思う

運営会議事務局長 渡邊 公子

昨年の12月、高校生ボランティア体験報告会に参加しました。鎌倉・湘南地区16校の高校生の代表が自分達の学校でのボランティア活動を報告しました。どの高校も立派な発表でした。

ボランティアをしている高校生はみんな優秀なのか、なんと優等生の多かったことでしょう。

でも、ちょっと私は違和感をおぼえました。

ボランティアは弱い立場の人に「何かをしてあげる」という考えから出発しているように思えたからです。ボランティアって、「…してあげる」という、する側に立った考え方で良いのでしょうか。

そんなことを考えていた時、ある高校の生徒が発表をしていました。そして、「養護学校とか老人ホームにボランティアに出かけていますが、「…をやっ

てあげる」ことではなく、私達のやるべきことは、その人たちが生活しやすい場をつくること、人間らしく生きられる環境を整えることにみんなで努力することです」とまとめられました。その通り！！

世の中に弱い立場の人は確かにいます。しかし、その立場でない人が、何かをしてあげることではなく、される側の立場を考えて行動すること、これがボランティアだと思います。

鎌倉市市民活動センターは、昨年9月から神奈川県教育委員会の事業「地域ボランティアエアポート」に協力することを了承し、高校生ボランティア活動支援の拠点となりました。

高校生のボランティア相談をはじめ、ボランティア団体とのつなぎなど、高校生が大人へのステップとして、持続可能な社会をつくる担い手となるためにボランティアの場を活用できるお手伝いをします。

一人一人の高校生の感性は素晴らしいものがあります。それが地域の中で大いに発揮できるよう、当センターでは今後の事業の中で高校生をまきこんでいきたいと考えています。



高校生ボランティア 活動報告

高校生 活躍!



(ポスター作成も高校生)

広町緑地収穫祭



今回のボランティアは、おにぎり作りと芋煮だったので、料理をするのが好きな私は、楽しみでした。・・・当日は、案山子のパレードのバックミュージックも手伝いました。また、お正月の飾り作りにも参加し、お店で売っているような飾りが作れました。(川崎紀子)

収穫祭が行われる広場では、大人に混ざって小学生くらいの子供たちも準備をしていました。すごく元気が良くて、大人と同じくらい仕事をしていたのは驚きました。私は教えてもらいながら手伝いました。その時感じたことは、地域の人々がすごく仲が良いということです。大人とか子供とか関係なく全員で協力し合っていたのが、印象的でした。(大月のり子)



ネイチャークラフト教室

ネイチャークラフトに参加し、小学生の子供たちや他校の生徒、講師の方々と鎌倉の12月の自然を通じ交流できたことは、普通の生活ではできないことで、貴重な経験になりました。子供たち以上にこの1日を楽しむことができました。チャンスがあればまた参加したい。(須田里与)



りよちゃんは、ボランティアとして参加した高校生です



かしの小学校  
二年二組 にいづからゆうか  
わたしはネイチャークラフトを  
かまくらでしました。  
わたしは、おにぎりをつくりました。  
りよちゃんは、おにぎりをつくってほ  
いし、わたしの、おにぎりをつく  
りました。  
りよちゃん、わたしに、おにぎ  
り、おにぎりをくれました。  
また、おにぎりをくれました。

※ 地域ボランティアエアポートとは・・・

県教育委員会は、高校生のボランティア活動等促進に向けた環境づくりの一環として、県内の高校生に「かながわ高校生チャレンジボランティアパスポート」を配布しています。それを踏まえて、高校生のボランティア活動を様々な形で支援する市民活動センターを「地域ボランティアエアポート」と位置づけ、地域の高校生ボランティア活動支援の拠点としました。

携帯サイトへの掲載ボランティア募集

当センターのホームページに高校生への情報発信のための携帯サイトがあります。ボランティアの募集などがございましたら、お申込みください。

# ワークショップ開催

## 《 研修部会報告 》

1月26日(金)、2時間半を使ってワークショップ研修を実施しました。いま鎌倉 NPO センターには300団体以上の登録があり、市民生活に密着したらあらゆる分野からサークルやグループが参加しています。センターはこれら団体の活動を全面支援するのが目的ですから、日頃からこれら団体と広く接触して相互理解を深めておく必要があります。そのための有効な手段のひとつとしてワークショップを体験してみようというわけです。以下はその概要です。

はじめに、講師岡村竹史氏(計画技術研究所)から今日のプログラムの説明がありました。6人ずつ2グループ(強みと弱み)に分かれ、テーマは「鎌倉NPOセンターの元気づくり」、センターの「ここが強み」と「ここが弱み」の両面からアプローチするとのこと。



### 1. 「強み」と「弱み」をそれぞれ3枚のラベル(6枚)に書く。

- 1つのラベルには1つの意見だけを書く。
- 他の人が読んでも意味が判るように具体的・率直に書く。(極めて重要なことが後で判る)

- ◇ 集まったラベルの主なもの  
「強み」……センターの環境が良い・使命感がある・ボランティア精神がある 等々  
「弱み」……若い会員が少ない・活動方針不明確・会員の横の繋がりが不十分 等々

### 2. ラベルを整理して組み立てる(2グループ共通)

書いたラベルは「強み」「弱み」に分けて、同名のグループに集め、メンバーに均等に配布して徹底してよく読む。(書き手と読み手との交流が始まる)

- ◇ 2枚または3枚のラベルの内容が、極めて近い、同等である、とグループで判断されたら、1つのシマをつくる。(3枚1組まで、1枚でも可)
- ◇ ラベルが無くなるまでこれを繰り返し、シマ同士の関係性を考え、結合できるものは大きなシマを作ってもよい。シマに見出しを付け、全体の標題を決めて作業終了。  
(ワークショップの根幹となる部分なので、みんなの集中力が成果に反映する。)

### 3. 発表と発展(成果を味わう)

- ◇ 出来上がった2作品を交互に発表して全員で味わう。また、様々な戦略やアイデアを展開してみる。最後にセンターの元気づくりのアイデアを募集したところ、自由闊達な提案が次々と飛び出し、スタート時の硬い雰囲気とは天地の差が感じられました。

ラベルを整理し、組み立てる



「強み」「弱み」をラベルに記入

グループごとに発表



### 4. 考察

講師の話では前掲程度の研修内容は、通常半日間を要するとのこと、かなりのスピードで進められたことが判ります。この研修スタイルは、グループ KJ 法の手法を一部取り入れていることが判ります。この場合、最も重要視されているのが、ラベルの内容を正確かつ深く理解することです。書く方も、読む方も、これなくして深い相互理解に到達することはできません。

ワークショップは自由な雰囲気の中、参加—体験—相互作用を学ぶことができます。それは貴重なことですが、いま社会のあらゆる分野で多様化が進むなかで、組織の合意形成を実現するためには最も有効であるにしても、あくまでも「手段」であって「目的」ではないことを肝に命じておくことが大切です。(研修部会 中田 浩二)

# フォーラム開催

## 「生きがいと健康」

～医療費を使わずに元気で暮らすために～

場 所：鎌倉市福祉センター 第1・2会議室  
開催日：平成19年2月17日(土)13:00～16:00  
基調講演：加藤卓司氏「健康で長生きするために」  
(かながわ健生クラブ 健康生きがいづくりアドバイザー)



人は誰も生きがいのある人生を求めている。そのためには健康が第一である。「元気で健康な生活を送るにはどうしたらよいか」このようなテーマでフォーラムが開催されました。

奥野研修部会リーダーの司会で開会し、岡野理事長の挨拶に続き石渡鎌倉市長よりメッセージをいただきました。

### ☆ 岡野理事長の挨拶

NPO センターでは活力ある市民社会の実現をめざし活動しています。このためいろいろな活動を行っていますが、フォーラムもその一つで「防犯」「良き医療とは」「地震対策」等をテーマに行ってきました。今回も皆様のご意見を期待しています。

### ☆ 石渡鎌倉市長のメッセージ

元気で暮らし、医療費を使わずに楽しい生活を送ることは市民にとって最も望ましいことです。今回のフォーラムが有意義なものとなることを強く期待します。



### 基調講演 加藤卓司氏 「健康で長生きするために」

1. 生きがいを感じる人生に
2. 一人では生きられない  
親しい友達を作り、“今日は”“有難う”を言おう
3. どうせならカッコよく生きよう
4. スローライフで百才まで  
もう歳だからとは言わないで、  
ゆっくり一歩一歩安全に楽観的に

## 《 パネルディスカッション 》(講演概略)

### 吉田 とめ子氏 「健康生活を維持するには」

朝、目が覚めたら床の中で体操する。寝る前と起きた時、コップ1杯の水を飲む。窓を開け、深呼吸。洗面と顔のチェック。新聞の見出しだけでも目を通す。食事はゆったりと。1日1回緑黄色野菜を。1日20～30分ウォーキング。今日の出来事を書く。疲れはぬるめの湯で入浴。薬に頼らない(クスリはリスク)

### 細田 豊 氏 「地域の仲間づくり」

横浜生きがいづくり指導者。NHK ラジオ体操指導者他多くの資格を持っている。活動のきっかけは地域行事への参加で大勢の人々とつながりを持ったこと。老人会でそば作りも体験。何でも良いので、活動を始めれば広がって行く。

### 本郷 健 氏 「健康生活をおくるお金の活かし方」

安心のセカンドライフを送るには健康と金に留意すること。貝原益軒の「養生訓」がすべてに通じる必読書。健康のための金の活かし方は、資産の効率活用。公的医療保険の活用が必要で、TV で宣伝している保険は必ずしも必要ではない。また医療、健康情報収集がポイント。

### 松島 誠一 氏 「足もみ健康法実技とADL体操」

自分の身体を愛すること。人間の身体の細胞60兆個。新陳代謝1日1兆個。血管の総延長15万キロメートル。足は第二の心臓。足もみ健康法により問題解決。ADL(対応型高齢者体操)は日常生活を維持向上させる。

呼吸が大事で1日2万回、大きく吐いて吸うこと。健康のヒント、少憤多笑、少車多歩から始めること。

(各氏共、かながわ健生クラブ、健康生きがいづくりアドバイザー)

終わって、全員体操を行い、来会者の質疑応答があり、散会した。(研修部会 吉川 昇)

## 全 員 会 議(H19. 1. 19)

正会員30名の参加により、平成18年度第2回全員会議が開催されました。

理事長挨拶の後、部会活動報告がありました。

今回は、鎌倉市役所市民経済部の相澤氏より「地域コミュニティー」のモデル事業について、説明の機会を作ってほしいとの依頼があり、場を設定しました。「役員のみ手が少ない。若い人にも呼びかけたい」「近所のお年寄りの見守りを広めるにはどうしたらよいか」等の悩みや疑問を地域の皆さんと市役所と一緒に考えるというモデル事業について、参加者からは活発な質問や積極的な意見が出されました。

続いて「当運営会議の自立に向けて」の話し合いが行われ、会員からは次のような意見が出されました。

- ・事業を推進する組織作りが大切。 ・鎌倉は部会方式が特徴である。
- ・動ける気持ちになる環境を考え、つくる。 ・使命感を持って活動する。
- ・支援センターとして何が出来るかを検討する。
- ・様々な分野の人と話すことがよいのではないか。

会議終了後「懇親会」が開かれ、軽食をいただきながら親睦の輪を広げました。



## ミニコラム

### 「シニアライフの心得、市民活動の心得」

2年前に退職しましたので、団塊世代の少し先輩になります。退職と同時に自治会長の役割が回ってきたり、運よく市政モニターにも入選できたりと、機会には恵まれて過ごしてまいりました。この際ですから2007年にふさわしく、団塊世代に私なりのささやかなメッセージを送りたいと思います。

シニアを対象とするあるフォーラムで、大銀行役員だった方が定年後8つのものを失ったと嘆いていた、という話が紹介されました。その人が失った8つのものとは、組織、ステイタス、収入、情報、部下、友人、生きがい、そして最後は家族にも愛想を尽かされた、という次第。仕事や、組織の中での栄進だけが人生、という考えに染まってしまうと、定年後の、組織や肩書きとおさらばした人生を素直に受け入れることができなくなってしまいます。失ったもの（過去の栄光）だけが頭にこびりついて、新しい生活を切り開けない・・・

定年後のシニアライフの心得として最も大切なことは、現役時代の地位や肩書きをきれいさっぱり忘れるということだと思います。それらのものは定年とともにどこかへ飛んで行ってしまったのです。そして2つ目に大切なこと、30年40年と社会で働いてきたことによって自分の身についた見識や経験に自信を持つということ。それらのものは定年になったからといってどこにも飛んでいきません。

地域の市民団体やNPO等、市民活動を考えている方も多いことでしょう。シニアライフの心得2点は同時に市民活動の心得でもあります。これに加えて、市民活動の心得第3点は、市民団体は、明文化されているか否かの違いはあるにせよ、何らかのミッションを有していること、ミッションへの共鳴とメンバーの熱意で活動が成り立っていることをわきまえることでしょう。

本年度の「第一生命サラリーマン川柳コンクール」傑作100選の中にこんな作品があり、往年の自分の心の一面を思い出して思わずニタリとしてしまいました。

**定年で あわてて地区に 顔を売り (日向ぼっこ)**

でも本当のところ、あわてて地区に顔を売るほどのことはありません。ふつうの生活者・ひとりの市民として自然体で振舞ったらいかがでしょうか。市民団体はやさしく、お帰りなさい、と迎えてくれると思います。

【いしかわ かつみ 社会保険労務士 鎌倉市城廻在住】

## 登録団体見て歩き

### NPO法人 たすけあいW. Co・グループゆう

「グループゆう」は、今年で設立20周年を迎える。ホームヘルプサービスの草分け的な団体で、生活クラブ生協の会員有志が10名で立ち上げた“ヘルパーさん”の集団だ。『困った時はお互いさま』を合言葉に、食事作り、掃除、洗濯、買い物等のサービスをおこなってこられた。“老いては子に従え”どころか“老いても子に頼れない核家族社会”では、高齢者の自立のためには、ヘルパーさんの存在は、時に家族よりも大切なものだ。

平成13年から介護保険事業に着手し、それに伴いNPO法人格を取得したり、事務所を開いたり、会員にヘルパーの資格を取ることを促したりと、組織を整え、支援内容の質も着実に高めてこられた。

10周年の年には、正会員26名、利用者24名となり、その後も年を経るごとに徐々に増えて続けている。

利用される人の中には、車椅子で生活をしている人、リュウマチを患いながら一人暮らしをしている高齢者など、さまざまな健康上の不自由を抱えている人々もいる。「グループゆう」はこうした人々を、同じ町に住むもの同士、力を合わせ、手助けをし、支えることは出来ないだろうか、と問い続け、気楽に『助け合えるシステム』作りを一歩ずつ実践してこられた。



取材では、シャワー浴の介護後、整髪のお手伝いをしているところへおじゃました。ヘルパーさんは「本当にお一人で一生懸命努力をされているから、少しでもお役に立ちたい」という思いで仕事に向かうそう。そして、仕事を通して自分自身、成長していると実感できることが働く原動力となっているとも。

行政の行き届かない隙間を埋めるNPOの仕事。埋める手立ては、各人の持つ生活技術や、人生経験から学んだ知恵、そして時間と労力。子育てを終え、外で働きたいと思っている女性の新しい働く場としても「グループゆう」をもっと注目してほしいそうだ。(H. I)

連絡先：TEL 0467-25-1905（事務所）

### NPO法人 ICP地域振興協会（リサイクル市）

1月27日、由比ガ浜のKKRわかみや隣接駐車場で、NPO法人ICP地域振興協会 家庭利便性・福利厚生事業部が主催するリサイクル市が開催されました。

毎月第四土曜日に実施するので「よんどいち」（四土市）と称するそうです。



この活動は、鎌倉市が後援するもので、循環型社会の形成に貢献するために、一般家庭の方々の出店を募り余剰品を捨てないでリサイクルで

きる場を提供しています。昨年より5回目を数えています。が、まだまだ認知度が低く、これからという感じです。

しかし一方で、毎回来場する常連の買い物客も次第に増え毎回差し入れを持って応援にみえる方もいらっしゃる、期待の大きさをひしひしと感じると、主催者の言葉です。

当日は好天で、冬とは思えない暖かな日でした。10時の開場前に売れ始める状況で、新品の下着等の衣類や陶器、電気製品が、値段の安さから、とぶように売れていました。

石鹸一個50円と聞き、全部買い占めて行く人、ブランド物のストッキングもアツと言う間に売り切れてしまいました。「時間通りに来場するお客さんには申し訳無いと思いますが、早くから買いに来る方をむげにお断りする訳にもいきません」と、出店者は嬉しそうに取材に応じてくれました。「家にいるよりアウトドアで、海の香りを浴びて、一日過ごすのも良いと思い、出店しました」とのこと。

閉店時、赤ちゃんづれの出店者に売れ行きをうかがったところ、「目玉商品は皆売れましたので儲かりました」と笑顔で応じてくれました。

出店料金は駐車場代 2000円、主催者運営費 2000円の合計 4000円ですが、見直し中とのこと。

主催者収益の一部は、鎌倉市廃棄物処理施設再建の為に基金に寄付されています。(A. N)

連絡先：TEL 0467-43-1804 FAX 0467-44-0881

Mail：ribena@icp.or.jp http://www.icp.or.jp

## 登録団体見て歩き

## (社) 神奈川県建築士事務所協会鎌倉支部

平成8年に発足し、今年11年目を迎える神奈川県建築士事務所協会鎌倉支部は、震災時の街の安全を考えることを目的とする「鎌倉市の耐震診断促進事業」に協力し、診断実務を展開しておられます。

現在、市内27事務所が会員となっており、月に1回の役員会と定例会を行っています。

鎌倉市委託の耐震診断は、これまでに1000件を超えました。

その他にも各種建築相談、苦情相談、市民向けのイベント・フォーラムの開催などを行っています。また、鎌倉市からの要請で、景観アドバイザーも派遣しているそうです。

昨年11月には「鎌倉の地震と活断層」「ライフラインとパネルディスカッション」といった内容で、10周年記念フォーラム『大地震に備える』を開催しました。

『住宅を犯罪から守る』をテーマにフォーラムを開催した時は、元プロの空き巣師も登場し、生々しい体験談に会場がどよめくなど好評を博したそうです。



(役員会の様子)



フォーラム「大地震に備える」

建築士から見た防犯の面では、「風致地区との関わりから難しい問題もあるのです」と中村さんはおっしゃいます。また、災害が起きた時には、耐震について皆さんの関心が高まり相談が増しましたが、現在は少なくなっているとのことです。耐震についても、日ごろから準備をしておくことが大切だと感じました。

詳しい活動などについては『かまくら建築士フォーラム』という鎌倉支部のホームページも開設していますので、ご覧ください。(M. N)

連絡先：0467-32-7007 (事務局・中村)

## 鎌倉市シニア囲碁連盟

囲碁大好き人間が集まって、はじめは自分たちで楽しんでいたのですが、環境整備のエコクラブに所属してらした創設者の北田さんの呼びかけで、趣味のグループを発展させて囲碁連盟を作られたそうです。

瀬野さんが引き継がれてから、単なる連盟でなく、60歳以上の方々の社会参加を図る鎌倉市シニア囲碁連盟としたそうです。囲碁はできるが社会との交わりがないのではない、囲碁を通じて社会参加をしたいとのこと。

そのためにも平成10年より市民に呼びかけ、鎌倉市及び鎌倉市教育委員会の協力を頂いて、年2回のシニア囲碁大会を開催しています。優勝、準優勝、3位を決め、市長杯、市議会議長杯、教育委員長杯、及び市長からの賞状、副賞も出しているそうです。参加の呼びかけは市の広報で行いますが毎回100人前後の人が参加されるとか。10周年になる今年は、120人の募集をすとのことです。

参加者は2日間に分けて対局するそうです。平均年齢72歳で、中には80歳を過ぎた方も参加され、朝の9時半から午後3時半



まで元気に楽しんでおられます。「高齢の方々が元気に囲碁を楽しんでいる姿を見ると、NPO活動の一環として開催できたことに喜びを感じます」と、瀬野さんはおっしゃっていました。

囲碁は脳の活性化につながりますか、と伺いましたが、「それはどうですかね。でも好きなことを楽しんでするというのが、健康法でもあり、脳の活性化にもなるのでしょね」とのことでした。

当の瀬野さんも大会開催の準備のため、市役所に行く折には、大船のご自宅から自転車で亀ヶ谷の切り通しを越えて行かれるそうです。この運動と囲碁のせいか、瀬野さんはとても若々しい方です。

全く囲碁を知らなくても、やってみたいとの希望があれば教えて頂けるそうです。(M. Y)

連絡先：0467-44-9283 (瀬野)

理事会・各部会・諸、実行委員会報告

理事会

- 1月11日 ・選挙規定見直し ・全員会議について 他
- 2月 1日 ・全員会議まとめ
- ・第2回利用登録団体懇話会について 他
- 2月23日 ・10周年記念事業について 他
- 3月 1日 ・総会に向けて 他

相談部会

- 12月20日 ・広報「かまくら」に載せる相談日時、内容および担当者の確認
- 12月20日 ・登録団体宛のアンケートの内容検討
- 2月21日 ・相談受付団体への対応及び内容の進捗確認

研修部会

- 1月26日 ワークショップ開催
- 2月17日 フォーラム開催
- 12月11日/12月21日/1月9日/2月9日 部会

フェスティバル実行委員会

- 12月 8日 ・第9回フェスティバルの方向性に関して討議
- 1月12日/ 2月 2日 ・具体的内容の検討
- 2月14日 ・具体的内容の集約 ・会場下見
- 3月 2日 ・内容の詳細 ・役割分担

相談部会

相談 Q&A

**Q:** 雇用保険の被保険者になるのはどんな人ですか。

**A:** 事業主に雇われて事業主の管理・統率下で仕事をする人は原則として雇用保険の被保険者となります。ただし、65歳になった日以後に新たに雇用される場合は対象となりません。パートタイマー（1週間の所定労働時間が、同じ職場の通常の労働者より短い人）の場合は、その所定労働時間が週20時間未満の場合とか、1年以上引き続き雇用されることが見込まれていない場合には、対象とはなりません。事業主や団体の代表者（理事長）も対象とはなりません。保険料は合計で給与の千分の15ですが被保険者自身の負担は千分の6です。  
(社会保険労務士 石川 勝己)

組織研究部会

「野村総研跡地」利用、特に鎌倉市が検討している「市民活動交流館」の活用について、当センターの登録団体の皆さんの意向調査を実施するため、調査項目や内容を検討。最終案を理事会に報告予定。検討のため部会を5回開催。アンケートがお手もとに届きましたら、ご意見をお寄せください。

協働事業推進部会

- 12月22日 合同会議 ・18年度報告書について
  - 1月12日 部会 ・19年度に向けて
  - 1月24日/ 2月21日 部会 ・研修会について
  - 1月24日/ 2月21日 合同会議 ・19年度に向けて
  - 3月17日 研修会（予定）
- 「市民・NPOと行政の創造的な『協働』のつくり方」  
※18年度の報告書ができあがりました。  
問い合わせはNPOセンターまで。

財政部会

- 12月26日 部会
- 1月下旬 部会
- 2月 寄付集め活動の開始予定

広報部会

- 12月11日 HP編集会議 ・2007年ファイル作成
- 1月15日 HP編集会議 ・「おしらせ」項目企画
- 1月24日 部会（パートナーズ42号企画）
- 2月19日 HP編集会議 ・フォルダーの整理
- 3月19日 HP編集会議（予定）
- 第2期パソコン教室のサポート（9回）

**フェスティバルのご案内**

**日時:**平成19年5月12日(土)13日(日)  
**場所:**NPOセンター大船及び玉縄交流センター  
**テーマ:**「連携」  
**内容:**展示(中心に交流の場を設置)

**イベント**

- ☆ 新聞記者の見た市民活動
- ☆ 円卓サミット
- ☆ 登録団体参加イベント

喫茶コーナー  
グッズなどの販売 他

## 登録団体懇話会開催 2月24日

当センターの登録団体20団体と団体の会員36名が参加して、「登録団体懇話会」が開催されました。

### 1. 事業報告（事務局長）

- ・時間外利用の状況 ・相談部会の相談状況 ・協働事業の状況
- ・鎌倉団塊プロジェクトの活動状況と今後の予定
- ・委託事業「高校生ボランティア」終了 ・物置整備について
- ・鎌倉センターミーティングルームの間仕切り設置について 他

### 2. フェスティバル開催について（フェスティバル実行委員会）

### 3. 小グループでの話し合い

- ・団体紹介 ・センター利用について ・新印刷機導入について



（懇話会の様子）



（交流会の様子）

### （小グループでの話し合いより）

印刷機については、「写真を入れることが多くなるので写真が良く出るほうが良い」「料金は、印刷機維持費が確保できるよう考慮して設定してよいだろう」との意見が出ました。また、「団体のジャンルが多く鎌倉の活動の広さを感じた」「他の団体の内容が分かり、意気投合した」等の感想が聞かれました。

小グループでの話し合いは大変盛り上がり、「これをステップに鎌倉の街をよりよくしてきましょう」との言葉でしめくられました。

その後、交流会が行われ、小グループでの話し合いがより深まりました。

## イベント情報

### 60歳からの社交ダンス

入門コース。プロの講師が60歳以上の方々のペースで楽しく指導します。

開催日：平成19年4月～平成20年3月の1年間  
 場所：深沢学習センター及び  
 湘南ダンス学院（そうてつローゼン3階）  
 参加料：入門コース 月4回 6300円  
 主催：NPO法人全日本シルバー社交ダンス普及協会  
 問合せ先：TEL 0467-61-3020  
 FAX 0467-61-3021

### 北鎌倉「匠の市」

手づくりの作品を販売する市です。  
 同時開催のコンサートやウォッチングもお楽しみください。

日時：平成19年3月31日（土）、4月1日（日）  
 9時～16時  
 場所：円覚寺・東慶寺・浄智寺各参道  
 参加費：お寺deコンサート：入場料 2000円  
 北鎌倉ウォッチング：参加料 500円

#### お寺deコンサート

東慶寺本堂：3月31日（土）10:30、13:30開演  
 はなまつり降誕会とデジユリドゥ/シタール/  
 タブラ/カリンバのコラボレーション  
 東慶寺書院：4月1日（日）13:30開演  
 盧 佳世「こころの歌 —part2—」  
 縁切り寺が結ぶ「えん」  
 浄智寺書院：4月1日（日）13:30開演  
 ジョングルール・ボン・ミュージシャン  
 「中世のエンターティナー 放浪楽師の音楽」その2

#### 北鎌倉ウォッチング —探訪！幻の大蛇ザクラ—

日時：平成19年3月31日（土）  
 出発 12:30 解散 15:30頃  
 集合場所：東慶寺本部前  
 主催：北鎌倉まちづくり協議会  
 問合せ先：TEL/FAX 0467-22-4693（事務局 齋藤博子）

### 講演「市民・NPOと行政の創造的な『協働』のつくり方」

平成19年度よりNPOと行政の協働事業募集が始まります。  
 これに先立ち、協働への理解を深め「協働事業」の可能性について学ぶ講演会です。

日時：平成19年3月17日（土）  
 10:00～12:30 開場9:30  
 場所：鎌倉市役所講堂（第三分庁舎）  
 講師：久住 剛（NPO法人パブリックリソースセンター代表理事）  
 参加費：無料 定員60人 託児も無料  
 申し込み：TEL 0467-23-3000（内線2655）  
 /問い合わせ FAX 0467-60-4555 NPOセンター鎌倉  
 締め切り：3月14日（託児申し込み締め切り3月9日）  
 共催：鎌倉市市民活動課  
 NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議  
 協働事業推進部会

## 事務局からのお知らせ

### パソコンをありがとうございました

鎌倉市市民経済部相澤様と正会員の廣明様よりノートパソコンをいただきました。センターの活動に活用させていただきます。

引き続きご協力をお願いいたします。

### 総会のお知らせ

当運営会議の正会員による平成19年度総会の日時が決まりましたので、お知らせいたします。

★ 日 時：19年5月26日（土）17：00～

★ 場 所：NPOセンター大船

### 会費納入のお願い

平成18年度の会費未納の会員の方は、納入のご協力をよろしくお願いいたします。

### 会員募集中 !! 市民運営を応援してください

正 会 員 年会費 2000 円  
個人賛助会員 年会費 2000 円以上（一口 1000 円）  
団体賛助会員 年会費 3000 円以上（一口 1000 円）  
（郵便振替）口座番号 00280-4-36386  
口 座 名 鎌倉NPOセンター運営会議

正 会 員 数：89 名  
個人賛助会員数：18 名  
団体賛助会員数：177 団体（3月1日現在）

平成19年3月1日現在 **利用登録団体数:319 団体**

**お願い** 登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。

### 第3期初級パソコン教室受講生募集

パソコンを基礎からゆっくり楽しく始めませんか？

5月10日(木)スタート！ 9:30～11:00

3ヶ月9回コース 5000円(資料代込み)

持ち物：ノートパソコン（原則として）

場 所：NPOセンター鎌倉2F会議室

申込み：4月1日（日）より受付



### 時間外利用のお知らせ

時間外の利用は登録制になりました。より多くの会員の方々にご利用いただけるよう、登録制にいたしました。またご存知でない団体も多いようですので、再度お知らせいたします。

利用できる時間：平日(月～土)、第1・3日曜日

17:00～21:00

第1・3以外の日曜日、祝日

9:00～21:00

利用できる会員：正会員、個人賛助会員、  
団体賛助会員(1団体から1～2名の登録)  
※団体賛助会員とは、団体賛助会費をお納めいただいている団体です。

登録の方法：センターで時間外利用の講習を受け、登録する。(登録証を発行)

### 時間外利用時のお願い

当センターを時間外でご利用いただく時は、「時間外使用書」を提出いただいております。前日までに、鎌倉センター・大船センターのいずれかに提出いただきますようお願いいたします。

また、ご利用いただく当日は、利用票の他に日誌の記入をお願いしております。お忘れになりませんようお願いいたします。

編集・発行：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議  
神奈川県鎌倉市御成町18-10 鎌倉市市民活動センター

### NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10

TEL: 0467-23-3000 内線 2655

TEL/FAX: 0467-60-4555(直通)

e-mail: npo@chive.ocn.ne.jp



### NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25

(たまなわ交流センター 1階)

TEL/FAX: 0467-42-0345

e-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp